

本社来訪名士

都錦穂女師来訪

東京の錦都派琵琶家元都錦穂女史は、都派秋の大会を終り報告と芸の友錦木社長の見舞のため十月二十九日午後来訪され、久振りの会談を楽しんで辞去す。

輝立枝女史来訪

錦心流輝派本部の輝立枝女史は都女史と同道で錦木社長を見舞のため十月二十九日午後来訪され、久振りの会談を楽しんで辞去す。

仲川秀邦女史来訪

東京琵琶界で有名な女流社交家仲川秀邦女史は、十月二十八日名古屋の阿部秋子女師の琵琶祭公演に招かれ出演した即夜帰京内役として錦木社長の依頼で道案内役として錦木宅を訪問、交歓に時を移して午後四時退去された。

加藤錦陽氏来訪

三鷹市芸術文化協会会長加藤錦陽氏は、十月二十一日富士山麓行の写真完成を持って十一月二日来訪され、二時半来訪され、二時半退去された。

八束一峰氏来訪

日本琵琶協合理事兼会報編集担任者の八束一峰氏は、三越百貨店二十五周年勤務の経歴を有つ誠実一路の律義者であるが、会報新年号の資料収集のため十一月八日錦木社顧問宅を訪問会談された。

高田栄水師来訪

琵琶コンクールで文部大臣賞状の大家高田栄水師は、指圧術の療法巧者で有名だが、十一月八日錦木宅を訪問会談時余で辞去す。

斎藤祥風師来訪

鎌倉市大船町在住の詩琵琶両道の名星で国風流吟道家で雨宮宗家と渡米活躍された斎藤祥風師は、会員百数十名を養成され、茲三年間は錦心流琵琶に志し中谷襄水師へ入門中とか。十一月二十九日来訪快談時余にして辞去された。

内山鶴峯師来訪

札幌琵琶界の巨頭で日本詩吟学院岳風会副理事長の内山鶴峯師は十二月一日上京、三日夕雲の友社錦木社士翁を訪問見舞された。

故浅野晴風師追悼琵琶演奏会

各派大家協賛で

東京四絃界の豪傑で名人と讃えられた浅野晴風師が、昨秋病気で逝去されて早くも一年、その祥月命日に当る十一月二十五日正午より中野文化センターで追悼演奏会が開催された。主催は故人の遺業を継ぐ晴風会で、出演者は晴風会と故人と親交深かった各派の大家と長唄軒屋長之助一門で、出演総数五十名、故人の徳を飾った。番組は琵琶名人望月岫江氏の薄陽江を初手向に、吟詠(浜松中村晴

声会員)九人の前吟ありて晴風会員の演奏となり、山下代表の出場で少憩。軒屋社中十余名出演の「鶯娘」上演され、特別出演琵琶名手は山崎典水、押川旭葉、水藤五郎、藤巻旭彰、平田旭雄、鈴木流泉、京都大野飯月の諸名星、更に晴風会特別会員筋の中村晴声、高田栄水、緒方晴舟、杉山雅俊の各氏。当日は雨天乍ら盛会。

怪談劇と琵琶

中谷師が出演

琵琶人の間で怪談劇と言えば、小泉八雲原作の(耳なし芳一)と直感される程有名で、壇の浦の曲とか耳なし芳一の曲名で、水藤錦嶺さんと鶴田錦史さんの名人が演奏されている。怪談は他にも因果話や雪女などがあり興味多いが、錦心流琵琶の名人中谷襄水師が琵琶普及の一策として新劇の俳優連三十余名と提携して怪談劇上演を企画し、三味線の代りに琵琶奏で勤め、怪談のストーリーに拍車をかけて飲衆を楽しませ好評を受けた。この劇は十一月十三日から三日間と十九日から二十一日迄三日間夜七時から東京水道橋の労働会館と新宿の紀伊国屋ホールで公演され仲々で人気で話題を生んだという。

一水会大和支部一周年記念公演

温厚明朗の名琴家寺山注水師が支部長の神奈川大和市の錦心

流琵琶一水会大和支部は、昭和五十二年十二月の創立であるが、創立一周年記念日を前に十一月二十三日十一時より若葉自治会館にて錦心流琵琶演奏会を催し、会友伊与田詩水氏以下全支部員、寺山支部長並に本部会長中谷襄水、平塚支部長で神奈川県連合会長梅沢阿事、石井榮水、横須賀代表采崎、小田原代表金子、横須賀代表大坪の各名手並に中谷美水、小関香木、吉岡浄水、森姫水、渡辺声水の中堅精鋭諸氏出演しての競技で入場ファンを楽しませ盛況で、好評を受けた。

正絃会霜月演奏

東京の薩摩琵琶正絃会の十一月演奏会は、十八日午後一時より芝愛宕山上菜根で開き、開会あいさつに続いて遠藤鶴東氏の「龜山上皇」を序奏に、若屋、佐藤、柏木正木、吉田、栗原、古家、岡部、池野谷、鈴木、清川、大富士、輕部の諸氏が順独奏で妙技を揮い、最後に古曲門琵琶の合奏で終った。

筑前琵琶製作 三田村 電話 渋谷区神山町八番地三三三 電話 〇三六二二

石田琵琶店 創業明治十一年 電話 〇三六二二

筑前琵琶製品 各種附属品 桑田芝山 東京都大田区萩中3丁目24番地 電話 〇三(743)0068番



琵琶特集 一月号

新年の辞

昭和五十五年庚申の新年を迎えて新羅万象改たまるを覚え、身心を清めて天地神明を拜し国家の安寧繁栄と世界の平和万民の至幸を念願し、祖先の靈に頼りて一家の安泰と無事息災を祈願し併せて感謝奉恩を捧げ、全国芸の友愛読者皆様の御健康と御多幸を祈願し、茲に年頭の御慶び申上げる。

一年の計は元旦にありと言いが元日は朝の祝勝を済ますと神詣に出かけるを毎年の例としている。今年(さる)の年で即ち動物の歳を意味し、一番智のある縁喜を喜ばれる。それにあやかる如く琵琶行事の朗報が昨暮から入信し極めて明るい新年である。

一月東京で開催の日本琵琶協会の新春名流演奏会を筆頭に、筑前琵琶社の二十周年記念大会、秋には秋田市の名匠村上空城師の空城流吟時舞十五周年記念大会、東京の薩摩琵琶正絃会二十周年記念大会、名古屋で開く日本橋会全国大会、福岡市で開催される日本旭会の全国大会の各演奏大会が決定され、ファンを待望を呼んでいると御精神を切望す。

モビール音楽賞

受賞の光栄名匠

鶴田錦史先生

11月27日受賞す



(鶴田錦史師)

米国のモビール石油株式会社日本の文化事業の発展強化の目的で、モビール音楽賞贈与の規定を制定し、毎年邦楽と洋楽二部より各一名を選出し選考委員に依り審査決定し、本賞並に副賞が贈呈される。今年(九回目)で決定された受賞者は、邦楽は鶴田錦史師、洋楽は小林道夫師で、贈呈式は十一月二十七日夕五時半より東京港区アメリカンクラブ四階ホールで同好百数十名参列し盛大に行われた。参列者はモビール石油会社より直接招待された音楽家と関係筋の著名人で武満徹、横山勝也、

新年賀謹

鶴田錦史 東京都江東区亀戸三ノ九ノ一九 電話 〇三六〇二五三番

宗家 雨宮国風 日本国風流詩吟 横浜市中区弥生町三ノ三〇 電話 〇四五三三三三番

笹川鎮江 (旭鳳) 東京都文京区千石二丁目三ノ二一三 電話 〇三六〇七三三番

電話 〇三六〇七三三番

非売品

編集発行者

鈴木普士

東京都練馬区豊玉北五ノ一一 電話(九九二)〇三六三番

電話(九九二)〇三六三番

電話(九九二)〇三六三番

電話(九九二)〇三六三番

電話(九九二)〇三六三番

新年 賀 謹

筑前琵琶旭会大師範

河野旭保

〒802 北九州市小倉北区馬借一ノ四ノ五
電話〇三(五二)八三四〇番

筑前琵琶
日本旭会長

斎藤旭章

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話〇三(四三)八二六番

筑前琵琶

柴田旭堂

宝塚専科

上原まり

〒651 神戸市灘合区上筒井通五ノ四ノ二
電話〇六(二二)一一六一番

筑前琵琶日本旭会

中村旭園

〒810 福岡市中央区今川二ノ七ノ六二
電話〇三(四〇)〇〇一七・四〇二七八番

筑前琵琶

宗家 橘旭翁

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話〇三(四三)一三八七番

梶本旭風

〒537 大阪市東成区神路町三ノ八ノ六
電話〇六(四七)二二九一・四二七八番

高千穂旭楓

〒544 大阪市生野区小路二ノ二六ノ二
電話〇六(四七)〇〇六三・二六六七番

昨年九月十六日開催致しました筑前琵琶
横浜旭会並びに雅会五周年記念大会には
絶大な御支援を賜り有難く厚く御礼申上
げます。
本年は十月初旬県民ホールで横浜旭会演
奏大会を開催の予定でございます。

横浜旭会会長

小原旭成

〒241 横浜市旭区本宿町一〇六
電話〇四(五)一八九三番

横浜旭会幹事長

板倉旭富

〒231 横浜市中区本牧大里町一四
電話〇五(四二)〇四七三・(四二)六四八六

筑前琵琶日本旭会師範
大阪旭会・東大阪旭会
神戸旭会

旭山会
会長 木庭旭山

〒557 大阪市西成区千本北一ノ三ノ三三
電話〇六(四)七九二二番

新年 賀 謹

筑前琵琶

日本橋会

家元 橋旭宗

〒152 東京都目黒区目黒一ノ三ノ三一
電話〇三(四三)三三二〇番
〒444 岡崎市城北町一七ノ一
電話〇五(六)四四七五番

大和流琵琶吟宗家

山崎光掾

筑前琵琶橘会宗範

山崎旭萃

〒569 大阪府高槻市宮田町一ノ六ノ五
電話〇七(三)三二五九番

筑前琵琶嶺派

嶺旭蝶

青山旭子

〒810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二
電話〇九(二)〇三二一〇番

詩吟朗詠錦城会総本部

宗家 山元錦城

〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話〇三(三三)六二二二番

筑前琵琶橘会

大坪旭邦

〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話〇三(三三)四六四五番

錦心流琵琶三浦蓮水後援会

会長 加藤弥三三

〒662 西宮市松原町九ノ八
電話〇七(六)三二二二番

事務所 蓮水会
三浦蓮水

〒662 西宮市羽衣町七ノ三四
電話〇七(六)五八八七番

会 員 一 同

筑前琵琶橘会師範
詩吟朗詠錦城流宗範

夏秋旭芳

夏秋錦穂

〒857 佐世保市谷郷町四ノ一
電話〇五(三)一一三四番

筑前琵琶

東京橘会

〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話〇三(三三)六二二二番

錦心流輝派

輝水会本部

会 主 輝錦凌

外 会 員 一 同

〒113 東京都文京区本郷五丁目二ノ三
電話〇三(四)七五七四番

新年 賀 謹

錦心流一水会本部
名誉会長

松田 静水

〒145 東京都大田区南千束三ノ七ノ三
電話 〇三〇七 七〇七〇番

全国朗吟文化協会関東副部長
テイテクレコード専属
群馬琵琶連盟会長
日本錦古流総本部会長

宗家 針谷 錦古

〒370-12 高崎市岩鼻町局前二四七
電話 〇三〇七 (46) 二〇〇六番

吟詠菊水流宗家

菅根 悠光

吟舞菊水流宗家

永田 咏滉

〒125 東京都葛飾区青戸六ノ三七ノ二
電話 〇三〇七 三〇七五番

吟詠 赤心流

家元 赤心流 鶴翁

〒420 静岡市西草深町二ノ二ノ二〇
電話 〇五三 (53) 一四七一 番

空城流吟舞詩吟宗家

村上 空城

〒010 秋田市金照寺山公園七ツ森
電話 〇三八 (32) 九〇三 七七番

琵琶芸術協会代表
四絃富士会顧問
錦心流琵琶秋声会会長

宗家 前田 秋聲

本部 141 東京都品川区西五反田四ノ八ノ主
支部 電話 〇三〇七 八三三二番
京都・名古屋・湘南・東北

日本琵琶振興会

鈴木 流泉

〒343 越谷市大成町一ノ二三九二(自宅)
電話 〇六九 (82) 二二四一 番(代表)
〒111 東京都台東区駒形一ノ一ノ五(研究室)
スズセイビル六階・電話 〇三六五 (85) 二二二(代)

錦鳳流琵琶
朱鳳流吟詠

宗家 入谷 錦鳳

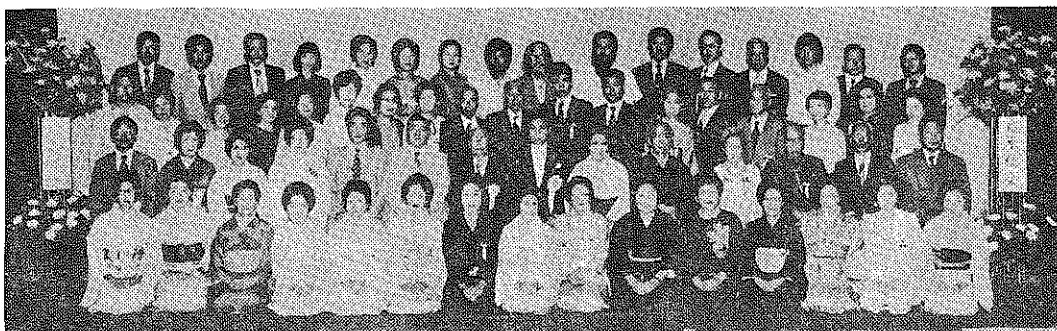
〒414 伊東市川奈光ガ丘一三三八
電話 〇五七 (45) 一七四九 番

他人を批判するよりも
先づ自己を反省 (自訓)

伊集院 牙城

〒370-09 群馬県邑楽郡邑楽町新中野八四ノ三
電話 〇三六 (8) 一一〇〇 番

筑前琵琶日本橋会全国大会記念



(写真説明)

筑前琵琶日本橋会全国大会第11回大演奏会は、十月六日十時より関西橋会司会となり大阪市御堂筋本願寺津村別院大講堂に於て開催入場約一千人の満員で成功した。当日の式典で橋会会長より芸の友社鈴木普士社長へ感謝状と記念品の贈呈あり大拍手を沸かした。

写真は当日の記念で(前列)向って右より野村旭福、山下旭瑞、林田門人、柳川旭葉、林田旭城、久徳旭蘭、田子旭蘭、寺尾旭吉栄、佐伯旭瑛、北村旭良、木村旭勝、吉田旭晶、内藤旭波(二列目同じ)、志水旭城、大迫旭山、吉田旭運、角田旭岑、堀田旭甲、山崎旭幸、橋本宗、鈴木普士、千葉正千代、瑞穂大次郎、板谷旭昌、矢吹旭美津、菅旭香、小林隆、(三列目同じ)小島旭清、佐藤旭天紅、井坂旭良、桜井旭富、白石旭優、片山旭浜、林田門人、勝田旭志、膳場旭竜、坪内旭鳳、土井旭淨、伊佐地旭勢、島田旭千、宇藤旭枝、角田旭優、谷口旭美、佐伯門人、上畑、(後列同じ)松島薫、射手矢旭将、片山弘二、佐藤旭尚、林田門人、林田門人、丸山旭壮、田中鵬水、一坊寺旭清、野田旭敏、南田旭良、竹田旭竜、佐伯門人、前田旭城、島田旭紅、中島旭鳳の諸氏である。

勲三等瑞宝章を
吉川協会長受賞

邦楽界の権威者

日本琵琶楽協会創立以来二十年間斯道の推進向上に寄与された会長で、芸術大学教授の吉川英史先生は、十一月三日文化の日に行われた秋の叙勲で勲三等瑞宝章に叙された一生の光栄を輝かした。

吉川先生は音楽学界の權威田辺尚雄先生の後継者と讃えられる芸界の至宝で、評論家と有名で、邦楽各界の会長又は顧問に推戴され高潔な人格の学者として人望あり人気が高い。先年紫綬褒章を受賞の榮譽者でもある。

松田静水師へ
勲五等瑞宝章を



(松田静水師)

錦心流琵琶界の長老で日本琵琶楽協会の創立者の一人である一水会名誉会長松田静水師に対し、賞勲局は師が伝統芸能琵琶楽の発展向上に多年尽された功績を認められ、十一月三日文化の日に発表された秋の叙勲に於て、松田静水翁へ勲五等瑞宝章に叙すの恩典に浴

され、九日伝達され宮中に参賀、天皇陛下より御言葉賜ったとは一代の光栄で真にお目出度い。

一水会新会長に
中谷襄水師就任

11月の総会で

錦心流琵琶一水会本部会長鈴木六水師は、健康上の関係で会長辞任を申出で中であつたが、十一月十日東京銀座七丁目ガストホールで開催の錦心祭全国大会琵琶演奏会に、全国支部から参加出演した代表連が出席した翌日の総会にて後任会長の選挙を行われ、現副会長の中谷襄水師が当選して新会長に就任されたとは目出度い。

皇太子様へ
録音献上し御嘉納

入谷師の榮譽

伊豆の下田は風光明媚な史蹟に富んだ勝地で、皇室の御用邸がある。中秋十月の好季に皇太子殿下御一家が御用邸へお出でになられ数日間御静養遊ばされ、浩宮様に

鶴田錦史師放送

現代琵琶鶴派の宗家で斯界最高峰の名人である鶴田錦史師は、十二月十五日夜十時二十分よりNHK「邦楽百選」に出演、望月聖江氏作(雪晴れ)を放送され、巧妙な牙技は絶讃を受けた。

横山師尺八吹奏

十二月十五日夜十時四十分より鶴田女史放送のあとに尺八の名人横山勝也師が、手向け、産安、浮雲の三曲を吹奏され、妙音感動を深めて賞讃された。



(入谷錦鳳師)

は天城山を縦走され御機嫌よく御帰京なされた。御用邸御滞在中に

日本琵琶楽協会
 会長 吉川英史
 副会長 金田一彦
 副会長 辻靖剛
 理事 藤巻旭
 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
 電話 03-3789-9311

(社)芸団協薩摩琵琶連合会副会長
 日本琵琶楽協会副会長
 薩摩琵琶正統会運営委員長
 薩摩琵琶古曲研究会々長

辻靖剛
 (東舟)
 事務所 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
 電話 03-3789-9311
 自宅 東京都分寺市東元町三ノ三四
 電話 03-3789-9311

筑前琵琶日本旭会

大師範 押田旭窃

160 東京都新宿区三栄町一六
 電話 03-335-1111

日本橋会大師範 大和流琵琶吟宗範

板谷旭邑

730 広島市橋本町一〇ノ一五
 電話 (21) 七五二二番

薩摩正絃会
 会長 西郷吉之助
 副会長 榊山資清
 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
 電話 03-3789-9311

四絃琵琶音曲会

望月啞江

272 市川市東菅野四ノ八ノ二一
 電話 03-386-3677

筑前琵琶 紅会

筑前琵琶橘会 大師範 角田旭岑

160 東京都新宿区三栄町十六(押田方)
 電話 03-335-1111

筑前琵琶日本旭会 大師範 角田旭岑

152 東京都目黒区目黒本町一ノ六ノ三
 電話 03-3712-2334

薩摩古曲研究会
 会長 辻靖剛
 副会長 須田誠舟
 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
 電話 03-3789-9311

薩摩琵琶東篋会々主
 時代に叶う新楽器桃山琵琶三世

柏木篋道

125 東京都葛飾区鎌倉四ノ三九ノ四
 電話 03-661-9477

錦心流琵琶 名古屋秋声会

阿部秋子

454 名古屋市千代田区中島新町中川住宅
 電話 052-880-2844

竹秋本旭将

618 大阪府三島郡島本町桜井四ノ一八ノ
 電話 075-850-5043



(撰 旭蝶師)

筑前琵琶保存会 15周年記念大会

福岡市有志で結成された筑前琵琶保存会は、斯道の名人旭蝶女師が専任指導教授となり主として青少年の育成を重点に普及拡張に努め、一昨年は東京朝日テレビ企画の全国青少年大会に少年琵琶音楽で参加出演し、見事に入賞し栄誉を輝かせた。今年には保存会創立十五周年に当り国際児童年の意味を含めて意義ある大会との企画で全国有名大家の門下少年の協賛出

演とし、先づ楳師門下を筆頭に、福岡の中村旭園師門、京都の矢吹旭美津師の三美会、広島の前地門下、戸畑の橋会、大阪の山崎旭萃師門下、小倉旭会等より各選抜の優秀少年連と、東京は鶴田錦史師門の若手女流の名人半田淳子さん、楳師門下の巧者青山旭子さんが出演し、十一月十八日大博多ビル十二階ホールで筑前琵琶芸術満花の美を競われ大盛況で好評の拍手止まなかった。

新年賀謹

鶴派鶴翔会

136 東京都江東区亀戸三ノ九ノ九
 電話 03-643-3222

友吉鶴心

111 東京都台東区雷門一ノ一ノ七
 (朝日マンション) 九〇一ノ七
 電話 03-561-0522

石坂鶴朋

334 川口市安行原二五三六ノ三
 電話 049-232-8111

内山鶴崇

062 札幌市豊平区中の島一条九丁目
 電話 011-847-4400

立川鶴祥

371 前橋市文京町三ノ六ノ一
 電話 027-219-0433

半田鶴炎

半田 埼玉県富士見市上沢三ノ八ノ七
 電話 027-512-7099

半田鶴朱

175 東京都板橋区成増五ノ六ノ四
 電話 03-377-6211

田中鶴旺

144 東京都大田区下丸子一ノ七ノ三
 電話 03-370-1155

馬場鶴洲

922-01 石川県山中町上原口甲九五
 電話 076-778-2399

村木桜柳

190 立川市高松町二ノ二ノ一三
 電話 03-552-2452

中村錦道

226 横浜市緑区大熊町三三ノ五
 電話 045-677-6778

井上雅翔

152 東京都目黒区原町二ノ一ノ九
 電話 03-3712-4733

錦流琵琶 秋山錦賜

251 茨城県水戸市水戸二ノ一ノ一
 電話 028-237-8676

国風流詩吟部 輝水会北米支部

支部長 福手錦稜

外会員一同

羅府サマーセット通三八〇七

加藤錦陽

181 三鷹市井の頭三ノ一九ノ六
 電話 03-343-7965

四方田錦隆

375 群馬県藤岡市古板町乙二四六
 電話 027-233-3756

石田琵琶店 四世石田不識

105 東京都港区虎の門三ノ八ノ四
 電話 03-346-5484

日本祥風流詩吟会本部 斎藤祥風

247 鎌倉市大船一ノ二四ノ一四
 電話 046-266-0146

吟詠教授晴声会 会長 中村晴声

432 浜松市鹿谷町三七ノ一〇
 電話 053-766-0066

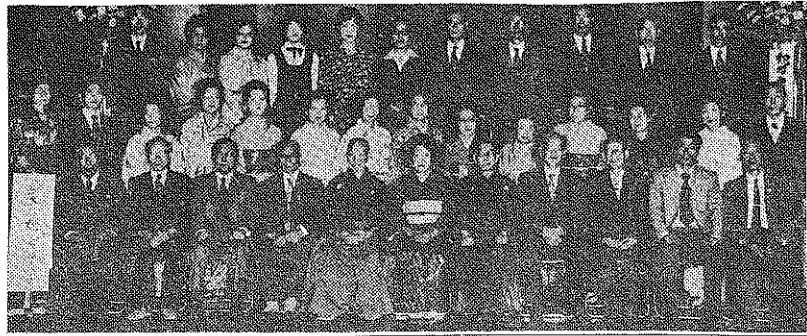
年 新 賀 謹

<p>薩摩琵琶四明会 京都琵琶協会 日本琵琶楽協会</p> <p>平井春嶺</p> <p>603 京都市北区平野宮西町六四 電話(三三)四二一三番</p>	<p>薩摩琵琶 古家絃風</p> <p>124 東京都葛飾区立石一ノノ 電話(三三)五七三九番</p>	<p>錦心流琵琶教授 中谷襄水</p> <p>232 横浜市南区井土ヶ谷中町六二 電話(五三)六七七七番</p>	<p>高田栄水</p> <p>176 東京都練馬区豊玉北四ノ二四 電話(四二)七二〇八番</p>	<p>横須賀琵琶連盟 山田幻水</p> <p>237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(四六)六六一三番</p>
<p>事務所 156 東京都世田谷区八幡山 二ノ一〇一〇番 電話(三三)三五五〇番</p> <p>琵琶洲楓会本部</p> <p>會長 大館美江子 理事長 桑名洲聖 副理事長 荒川洲帆 常任理事 前田洲月 同 平井洲誠 同 松崎洲陵 同 稲垣洲玲 同 山田洲鳳 同 彼ノ矢洲友 同 中村洲心</p>	<p>薩摩琵琶雲雀会・正絃会 遠藤鶴東</p> <p>260 千葉市登戸四ノ九ノ二 電話(三三)四一九〇番</p>	<p>薩摩琵琶正絃会 特別会員 栗原雨竹</p> <p>190 立川市柴崎町三ノ十二ノ八 電話(四二)六四九三番</p>	<p>一水会富山支部 北陸琵琶同好会 田中歴水</p> <p>930 富山市太田口通り一ノ六ノ二 電話代表(25)三七四一番</p>	<p>奥田医院 奥田興</p> <p>113 東京都文京区湯島三ノ八ノ二 電話(四三)八三七一</p>
<p>薩摩琵琶四明会々々員 同 正絃会々々員 同 鶴絃会々々員</p> <p>見陽小野鶴彦</p> <p>431-31 浜松市横志町一八三 電話(五三)〇八七一</p>	<p>横須賀 四絃富士会</p> <p>事務所 238 横須賀市富士見町一ノ五一 電話(四六)二二二二番</p>	<p>錦心流琵琶 一水会本部</p> <p>171 東京都豊島区西池袋三ノ五ノ七 内田七九階電話(三三)一九九二番</p>	<p>錦心流琵琶 水谷充水</p> <p>921 金沢市寺町五ノ十三ノ十六 電話(41)四四二九番</p>	<p>錦心流琵琶 秋山溪水</p> <p>153 東京都目黒区上目黒三ノ五 電話(四二)〇六〇六番</p>

阿部秋子師琵琶の祭典記念

(写真説明)

名古屋市錦心流琵琶の名星で人氣王の阿部秋子師が十月二十八日中小企業会館で琵琶の祭典を備し大入りの盛況で成功した。写真は当日の記念で(前列)右より西川



磯水、内田景水、牧南水、土橋水、前田秋声、阿部秋子、宮原輝水、奥村慧水、谷津豊水、武田恒水、青山旭登(中列)右より久保田秋鳳、山本紅香、土橋夫人、鬼頭紅春、前田夫人、兵藤紅敬、近藤鈴子、松浦秋翠、水野千恵子、若森久子、近藤貴美子、佐橋敏子、石田不識、宮原昌子(三列)右より長谷川秋楓、岸本瑞水、西村正一、西村旭一声、谷津壮水、田畑、秋元、若森、伊藤、石井、若森和之の諸氏である。

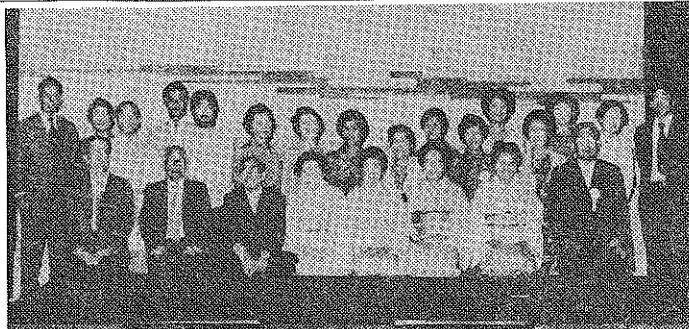
西宮市民芸術祭 琵琶吟詩舞大会の 三浦蓮水会満員

名人芸と美しい姿に酔う

関西錦心流琵琶の女王と定評高い西宮市夙川の三浦蓮水師の西宮市民芸術祭参加第十八回蓮水会琵琶吟詩舞大会は、十月二十八日夙川公民館松下ホールで、一水会神戸支部後援で開催、秋晴れの好天に恵まれ観客の出足も早も開演一時間ばかりで満席の盛況であった。

演奏は会員一同の「蓮水会々歌」に始まり、門下の高原、田中、小宮、村上、生島、滝沢諸氏で琵琶

四曲を上演拍手を受く。次に吟と詩舞あり、琵琶で大和懐古、日蓮誕生、戦艦大和が演奏されると盛んに拍手が起る。故池上作三先生作詩「澁君」が会主三浦蓮水さん



の演奏、舞いは青柳芳枝さんで上演されると、三浦女史の美しい声と流麗な節廻しの名人芸の魅力に観客は酔わされ、青柳さんの舞姿に見惚れて声援の拍手鳴り止まぬ有様であった。終って後援会長の挨拶、三浦師へ花束贈呈あり、東京よりの来賓藤波桜華さんの出演で「楊貴妃」に全誠心を傾け好

評。名古屋の水谷浩水支部長、富山の田中愛水女史の演技もそれぞれの特長を發揮してファンを喜ばせた。当日は地方大家の珍らしい顔合せで大人気の裡に閉会された。

(写真)は当日の記念で(前列)右より村上湧水、楊嶽水、松川緑延、藤波桜華、田中愛水、三浦蓮水、松野紫雲、水谷浩水、小川吟水の諸氏である。

神戸婦人代表团が 中国四市を訪問す 柴田女史参加



(柴田旭堂師)

神戸市と中国天津市とは六年前に友好提携を結び親善を重ねつつあるが、天津よりの招待で神戸市婦人が訪中代表团を組織し、土井芳子団長以下十名で十一月十六日出発、天津市を訪問して市民の歓迎を受け交親を深め、天津婦人有志の案内で上海、北京、西安三市を訪問視察して十一月二十五日に帰国された。此の一行中に筑前琵琶音楽の名人柴田旭堂女史が参加されて居り音楽会の催しもあって柴田師の妙技も上演され、素晴らしい賞讃を受けた。

若宮女師金沢へ

東京旭会女流の名星若宮旭登さんは、十一月二十日石川県金沢市へ向った。同地在住門人へ教授のため、若宮さんは関西と東京の活躍の外、毎年旭会全国大会へも出演し、円熟の妙技好評である。

活躍目覚しい 芸豪、木原綾子師



(木原綾子師)

日本の芸界には宗家や家元と名乗った世襲制度があつて、階級免状の規約があり各種邦芸の進展を阻害している。芸は一代限りのもので、世襲者で初代に優る秀技者は殆んど無いと見られる。錦琵琶創立した宗家水藤錦福は、名人と讃えられた人だけに芸巧者であったが品位がなかった。二代宗家と名乗る五郎の芸は年若のためか未熟。現在錦びわを代表する大家は木原綾子女師で、錦福晩年の直門であるが、恵まれた家庭の賢婦で精進自由の熱心家。最近の名古屋と鹿島島両地の大会に出演し、研練の秀技満場のファンを魅して絶讃を博したとは慶ばしい。

謹 賀 新 年			
651 神戸市東灘区八幡通四丁目一ノ七 電話(六)二六一〇番 久徳旭蘭 筑前琵琶橋会師範	485 小牧市北外山字竹林三ノ四 電話(五三)九六四五番 西村旭一声 筑前琵琶日本橋会	680 鳥取市片原四丁目二〇二 電話(八七)八七二四番 北村旭良 筑前琵琶日本橋会師範 鳥取旭良会 会長	177 東京都練馬区下石神井四ノ元 ノ六電話(九〇)〇六六六番 大津旭紅 筑前琵琶旭会師範
250-04 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 電話(三三)二二二二番 押川旭葉 筑前琵琶橋会	252 彦根市中央六ノ一三 電話(〇三)〇三二六番 林田旭城 筑前琵琶日本橋会師範 彦根旭城会 会長	857 佐世保市栄町五ノ二六 電話(〇九)一〇二〇番 千住旭滄 筑前琵琶橋会 法道院	553 大阪市福島区海老江四ノ七ノ二 笹岡氣付電話(六)二九七三番 横野旭鳳 筑前琵琶日本旭会 詩絃道煌鳳会
158 東京都世田谷区東玉川二ノ一 電話(三三)八二二番 安藤光鵬 大和流琵琶吟楽 師範	577 東大阪市後徳町一ノ二ノ八 電話(〇六)一四八三番 佐伯旭瑛 筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範	490-01 一宮市浅井町大日比野三三〇 電話(〇六)二八八〇番 小川旭典 筑前琵琶橋会師範 旭典会	146 東京都大田区下丸子二ノ四ノ六 電話(三三)三八一八番 安倍旭静 筑前琵琶日本旭会 橋流筑前琵琶宗家師範 琵琶吟・詩吟教授
164 東京都中野区弥生町四ノ主ノ七 電話(〇三)三九二番 川喜多旭麗 筑前琵琶橋会	464 名古屋市中千種区徳山川町一ノ 主ノ七電話(三三)七七八〇番 石河旭豊穰 筑前琵琶橋会師範 江楓流詩吟宗家	243 厚木市栄町一ノ五ノ二〇 電話(五三)二七二四番 三栖旭鋒 筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範	657 神戸市灘区倉石通三ノ一ノ三 電話(〇七)一五一五番 山本旭泉 筑前琵琶 事務所 171 東京都豊島区高松三ノ三 電話(三三)三六四五番

920 金沢市天神町二ノ六ノ一二 電話(〇三)五三三八番 田中篁水 錦心流琵琶吟教授 一水会金沢支部長	065 札幌市東区東苗穂町五ノ五 電話(〇二)三三三八番 二反田岳水 岳心流琵琶 岳心水会	173 東京都板橋区板橋町二ノ五 ノ五電話(〇三)八五四番 荻野甲水 一水会本部顧問	145 東京都大田区北千束三ノ六 ノ五電話(四二)二八八一番 宇川久信 薩摩琵琶 西幸吉門下	164 東京都中野区中央一ノ三 ノ六電話(〇三)七四〇番 仲川秀邦 薩摩琵琶正絃会 日本琵琶楽協会
040 函館市青柳町二六ノ一四 電話(二六)一六二三番 高橋蘇水 薩摩琵琶正絃会	133 東京都江戸川区東小岩五ノ 九ノ九電話(四)四七九八番 佐藤采水 一水会本部顧問	143 東京都大田区中央一ノ七ノ六 電話(四)八七一四番 小池幸水 一水会本部顧問	420 静岡市田町一ノ三三 岡尾鶴城 薩摩琵琶正絃会	790 松山市立花三ノ五ノ六 電話(四一)三八八七番 佐藤晃絃 日本琵琶楽協会 愛媛琵琶連盟顧問
254 平塚市宝町一七ノ三三 電話(〇三)三〇一六番 梅沢伺水 一水会平塚支部長 神奈川県連合会長	242 大和市福田四九六四ノ三八 電話(〇三)七一八〇番 寺山注水 錦心流琵琶一水会大和支部長 一水会神奈川県連合会 注	120 東京都足立区青井三ノ二 電話(八四)三八九二番 松本諸水 一水会城東支部支部長	400 甲府市太田町二五ノ九 敬友閣二六号 電話(五五)六三三〇番 速見是水 本名(高橋)真	165 東京都中野区大和田三ノ七 電話(〇三)五七三三番 八束一峰 薩摩琵琶正絃会
154 東京都世田谷区二ノ二ノ八 電話(三三)五三三九番 佐藤清水 一水会城東支部支部長 吟詠錦城流師範	570 守口市藤町一七土居団地一 電話(三三)五六二五番 小川吟水 錦心流琵琶	010 秋田市広面通ノ口一ノ二 電話(〇六)六七八番 松井灯水 静水門門下	250 小田原市南町二ノ一ノ二三 電話(〇三)二五五四番 神戸栄次郎 静水門門下	060-91 札幌市中央区南六条西七 電話(〇二)七二五二番 最上穂洲 正派薩摩琵琶 正調詩吟指南
569 高槻市津之江北町一ノ一 電話(三三)六〇五一番 京植村真水社 錦心流琵琶	989-24 宮城県岩沼市早岐字前川 一七ノ八(出口歯科医院) 電話(三三)三三三三番 菅野有水 鹿兒島	160 東京都新宿区高田馬場一ノ 一七ノ八(出口歯科医院) 電話(三三)六〇一六番 出口石水 薩摩琵琶同好会	892 鹿兒島市平之町二ノ一九 (田上橋市方) 電話(〇九)一八三七番 鹿兒島 薩摩琵琶同好会	941 新潟県糸魚川市上刈 電話(五五)四七一九番 石田錦穂 事務所 西宮市羽衣町七ノ三四 三浦通水方 電話(六)三三三三番

紅葉をたずねて 富士山麓へ行く

昭和五十四年という年は、氣候異変で温かく、降雨も少ないが台風が多く、特に十九号二十号の日本本土への被害は甚大であった。晩秋になっても気温の変調多く、十一月月上旬に東京は二十度以上の暖日が続く。十月下旬から十一月中旬は紅葉が見頃で関東では箱根や日光に観光客が多く賑う。三鷹市芸術文化協会長加藤陽氏とは二十年來の別荘の間柄で、毎年二、三回は遊散へお誘い下され名所旧蹟を廻つては楽しみ慰安されるので感謝している。五十四年は春に時定峠から東京水道の水源池を視察したので、秋には紅葉を鑑賞すべく山梨県方面へと語り、十月二十一日に富士山五合目への散策に望んだ。快晴の好天に恵まれ干葉夫妻を帯同し加藤氏の自動車で午前九時半出発、中央高速道を富士山麓目指して一宮線に、途中二カ所の料金所があり富士登山道入口にも料金所が設けられてあった。富士山五合目へは十数年前原田旭城君の東道で一度登山した体験があるが、其の際には有料ではなかった。登山二合目頃に燃料メーター百五十を示したので、三百満タン燃料では滑路が案じられ、五合目登山道二合目で中止し、休憩のため樹間を持参の弁当を開き昼食に舌鼓を打った。木の間より見上げる真青の空や涼風の心地よさ、お弁当も一際味である。目的の紅葉は惜

しいことに黄色と化したばかりで紅葉となった木は稀れである。約一時間休んで帰路につき、川口湖を見物し、大月を経て神奈川県相模湖近くを通り東京都へ、調布市の有名な深大寺をお詣りし名物深大寺そばを賞味し、一路帰途へ、午後六時であった。この日の行程実に七十六里とか、加藤氏へ感謝を表します。(菅士)

謹賀新年

都派琵琶本部

家元 都 錦穂
会 員 一 同

113 東京都文京区根津三ノ五ノ二
電 話 四 五 七 〇 八 番

筑前琵琶教授旭粧会

師範 原島 旭粧
160 東京都新宿区西新宿六ノ七ノ七
電 話 四 五 五 六 四 番

橋流筑前琵琶教授
栃木県吟詩舞道連盟顧問

平田 旭峰
320 宇都宮市峰町九〇
電話(三六)四五六六番

筑前琵琶日本協会事務局長
筑前琵琶連合会事務局長
師範 吉田 旭明
130 東京都墨田区菊川三ノ八ノ七
電話(三三)四一五六番

筑前琵琶橋会師範
旭 芳 会
山田 旭芳
153 東京都目黒区下目黒アヲノ一
電話(三三)四一九六番

筑前琵琶橋会師範

久保 旭栄
885 都城市鷹尾三ノ三八ノ二二

筑前琵琶橋会 名譽師範代

前田 旭城
496 愛知県海部郡佐織町持中佐渡
電話(五七)〇三八八番

東城流 詩吟 教授

緒方 晴舟
192-02 多摩市桜ヶ丘二ノ二ノ二
電話(三三)七四一〇九八番

筑前琵琶旭会
旭邑蓮吟

旭邑 斎藤 雪子
239 横須賀市野比七〇七
電話(四六)二七四番

筑前琵琶扶桑流詩吟教授
師範 若宮 旭登
189 東川市美住町一ノ四
電話(三三)九三二〇番

筑前琵琶橋会、詩吟教授
師範 佐藤 旭晴
657 神戸市灘区上河原通三ノ四
電話(六六)五三二九番

筑前琵琶橋会師範

旭園会 田子 旭園
683 鳥取県米子市岩倉町六〇
電話(六六)九〇五七番

薩摩琵琶晴風会

山下 晴楓
165 東京都中野区大和町一ノ五
電話(三三)〇八五五番

薩摩琵琶
晴風 会
164 東京都中野区中野三ノ二ノ六
電話(三三)二三四九番

筑前琵琶鹿兒島旭会
大師範 柿木 旭利
892 鹿兒島市新町四ノ二
電話(九三)二二七二番

錦心流琵琶
一水会名古屋支部
支部長 水谷 浩水
466 名古屋市昭和区荒田町五ノ三
電話(五三)八八一一番

顧問 奥村 慧水
456 名古屋市熱田区千代田町二ノ六
電話(五三)二二〇六番

相談役 小林 残水
456 名古屋市熱田区五本松町二ノ六
電話(五三)八五七三番

幹事 岩間 寛水
503-06 岐阜県海津郡海津町高須町
電話(五三)〇一八六番

相談役 土川 吟水
420 静岡市緑町六ノ二一五
電話(五三)五八五八番

薩摩琵琶南風会
代表 田川 富峯
920 金沢市長町一ノ四ノ五五
電話(七五)二一〇一〇番

健勝で米寿迎年

至宝辻 靖剛翁

東京琵琶界の元老でラジオ放送第一号の達人は薩摩派の辻靖剛翁である。琵琶芸道一筋に精進されて今年のはじめは至宝八十八歳の新年とは真にお目出たい。数年前に斯道の功績により勲四等瑞宝章を戴き、弾奏家として最高位の叙勲に輝いた。温厚誠実高潔の人格者で、日本琵琶協会の創立の発頭人で多年理事長を勤められた運宮の功労者。昨年の20年記念式典で感謝状を贈られた榮譽者である。

淑徳の誉高い

名人河野旭保師

琵琶界には名匠大家の敬称で呼ばれる弾奏家が多いが、真に名人に値する優秀な而も衆人の鑑と讃えられる立派な方は稀少である。筑前派旭保の大師範で小倉旭会会長の河野旭保先生こそ淑徳の譽れ高い温良、貴婦人型の麗姿の方で、寡言黙行博愛心の強い情義人であり、兎角如み根性の多い芸師界に在って誰一人として河野女史を口にする者もない程実に完成された立派な人格者である。女史礼儀作法の正しい点でも抜群の範で、長老敬愛の実践者である。

紅会20周年迎春

名匠押田旭翁師

人生二十歳は成年式である。東京琵琶界の名物と謳われる筑前琵琶「紅会」が、健やかに今日まで成育されたのは会員各位の協力もあつたが会の主軸となつて万端配慮された名匠押田旭翁師の超越した非凡な入神技と、宏大な慈愛心の致す所が敬服の外はない。押田女史は社交家として定評あり、若い頃より天才と謳われ琵琶界の女王と尊称された名人で、淑徳兼備の女丈夫として有名な方である。

八十五寿迎春

作家曾我竜城師

古都鎌倉の名物紳士であつた作家曾我竜城師は、群馬県館林市郊外に移住されて薩摩琵琶弾奏家として余世を築きまわっている。庚申の今年には八十五の高寿で円熟の妙技を研ぎ、円満な人格振りを發揮して「才士」曾我の名輝か。

鹿兒島市文化祭 薩摩琵琶弾奏会

鹿兒島の薩摩琵琶同好会は、鹿兒島市庁と共同主催で第二十七回市民文化祭薩摩琵琶弾奏大会を十一月十八日十三時より十八時まで市医師会館で開催し、平田副会長

正統会師走演奏会

東京の薩摩琵琶正統会では五十四年度終り公演として十二月十六日午後一時より芝愛宕山菜根で演奏会を催し、開会の挨拶のあと堀越、仲川、吉田、岩屋、須田、池野谷、樋口、佐藤、遠藤、正木、栗原、本橋、古家の諸氏の各単奏、最後に門びわ合奏で終演、そのあと忘年の清宴あつて解散した。

西川旭操師が 花岳寺で義士祭

関西に於ける筑琵琶の名匠で、姫路旭会々長の西川旭操女師は、十二月十日赤穂義士の城主浅野家の菩提寺である花岳寺にて赤穂義士の誠忠を偲び旭操会員十五名と共に義士伝の曲十五曲を演奏して義士祭を挙行し冥福を祈られた。

谷暉水師逝く

錦心流琵琶一水会本部元会長で名譽顧問であり多くの門下を養成された谷暉水師は、十二月五日逝去され七日葬儀が行われた。行年八十二歳。老衰であつたが惜しい名匠を失った。謹んで敬悼す。

謹賀新年

筑前琵琶
日本旭会理事

西川 旭 操

〒760 姫路市田寺池ノ内八四二ノ八
電話(96)三八四四番

時 一月二十六日 十二時より
所 銀座ガスホール

新春 名流琵琶演奏会

主催 日本琵琶楽協会

喪中のため年末年始の
御挨拶御遠慮申し上げます

筑前琵琶 日本橋会事務局

堀田 旭 甲

〒444 岡崎市城北町一七番地ノ一
電話(五五)四四四七番